



## 確かな学力と豊かな心を育てる ～全国学力・学習状況調査結果から～

今年も4月17日(火)に、小学校6年生の児童を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。その結果の公表をうけ、本校においても調査教科(国語・算数・理科)の結果分析と改善の方向、児童質問紙調査の結果の概要がまとまりましたので報告します。この調査は、子どもたちの学力や学習状況を把握し、指導方法の改善に活かすことを目的に実施されています。調査対象は6年生でしたが、学校全体の状況と捉え、普段の授業等で取組を進めていきます。



※なお、この学力調査の内容は、学力の特定の部分であり、教育活動の一部であることをご承知おきください。

### ◇学力調査結果の概要

教科 区分	国語		算数		理科
	A 問題(知識)	B 問題(活用)	A 問題(知識)	B 問題(活用)	
全国・全道 平均との比較	全国・全道平均を 上回ってる	全道平均を やや下回ってる	全道平均を 下回ってる	全道平均を 下回ってる	全道平均を 下回ってる

【国語】 ○は比較的高い割合で達成されているもの ●は課題があると判断されるもの

設問の概要	
国語	○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す ●文の中における主語と述語との関係等に注意して、文を正しく書く
A	○慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する(心を打たれる)
国語	○【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する ●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる(書くこと)
B	●目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える(書くこと) ●目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く

◇書く学習活動を、国語科のみならず、国語科との関連を図りながら各教科等に意図的、計画的に設定していく必要があると考えます。書き方を提示して、指導する等、「目的や意図に応じた」書き方を身につけさせられるよう指導の工夫を図っていきます。

◇国語科の力は、全教科の基礎になるとも言えるので、教材の読み取りだけでなく、本や新聞等多くの活字にふれる機会を設け、初めて読む文章でも内容を確実に読み取れるような力を伸ばしていくよう努めていきます。

【算数】 ○は比較的高い割合で達成されているもの ●は課題があると判断されるもの

設問の概要	
算数	●除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している(数と計算 数量関係)
	●小数の除法の意味について理解している(数と計算)
	●単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している
A	○角いの角の大きさが、何度であるかを選ぶ(量と測定) ●180° や360° を基に分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めることができる(量と測定) ●円周率の意味について理解している(図形)
算数	●メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる(数量関係)
B	●棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる(数量関係) ●理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる(量と測定 数量関係)

- ◇ 操作活動を大切に、数や量を体感できるように、指導を工夫していきます。
- ◇ 授業の中で、表現する場を意識的に設け（理由や考えを分かりやすく説明することができるよう、算数用語を使って書いたり、説明したりする機会）、学び合いを通して、「絵や図（線分図、関係図）と関連付けながら、考え方を身に付けること」「式だけでなく説明を文章で記述する力」を高めていきます。

【理科】 ○は比較的高い割合で達成されているもの ●は課題があると判断されるもの

#### 設問の概要

○堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している

●より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を**記述できる**（科学的な思考・表現）

○より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる

●物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる（科学的な思考・表現）

●実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を**記述できる**（科学的な思考・表現）

- ◇ 実感を伴いにくいものが不得意な傾向にあるので、観察・実験など具体的な体験を大切にしたり、デジタル教材を使用したりするなど、教材・教具を工夫するとともに、理科室の環境整備を進めていきます。
- ◇ 低学年の生活科の学習から、自然の不思議さやおもしろさを実感する学習活動を多く取り入れ、気付いたことを自分の言葉で表現するということを積み重ねていきます。
- ◇ 観察や実験を行う際には、見通しをもって行うことができるように、授業の中で理由を明確にして予想したり、自分の言葉で考察を書いたりする時間を意図的に設定していきます。

#### <生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査>

- 「毎日朝食を食べる」「毎日同じくらいの時間に寝る・起きる」児童が多い。
- 「いじめはどんな理由があっても認めない」という高い意識が見て取れる。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童が多い。
- 「地域の行事に参加している」児童が多い。
- 「学校のきまりを守っている」児童が多い。
- テレビ・インターネットの視聴時間やゲームの時間が多く、家庭での学習時間が少ない。

宿題の内容や自主学習の進め方(友だちの自主学習ノートの紹介など)・宿題をする時間などを学級だよりや懇談会等で紹介し、テレビやインターネット、ゲーム等の時間を減らし、家庭学習の時間が充実するように家庭との連携を深めていきます。また、よりよい生活習慣のためにも、ネット上のトラブル等を防ぐためにも、各家庭でテレビ視聴やゲームの時間の他、スマホ・インターネット使用のルールを決め、守らせるようお願いいたします。

- 全国平均と比較すると読書の時間が少ない。

「読書」に関わっては、学校評価の保護者アンケート、教職員の自己評価でも肯定的評価が低かったです。児童は学校での「朝読書の時間」は、集中して取り組んでいるようなので、家庭学習と合わせて、ご家庭の協力を得ながら、学校図書室や教室等の読書環境づくりと読書月間等で読書することへの関心を高めていきます。

- 「自分にはよいところがある」ことについて肯定的に捉えている割合は全国より低い傾向にある。

自己肯定感をもてるような達成感のある活動や指導・言葉かけ、友達と自分を大切にするような活動や指導を積み重ねていきます。